

## ⑦2 筑後川水系赤谷川 権限代行工事の完成

受賞機関 国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所

**キーワード** 権限代行による本復旧工事、模型実験を用いた説明、工期短縮、現地に行かない境界立会

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

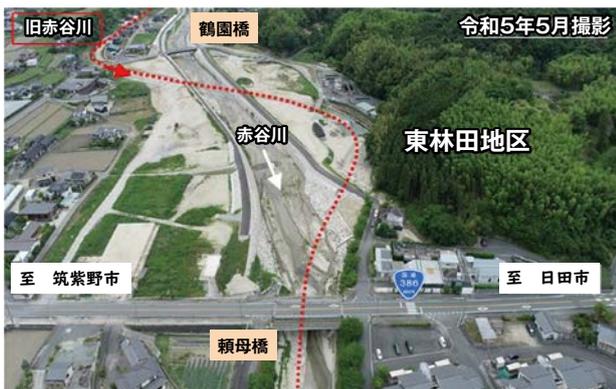
豪雨災害により被災した河川における権限代行工事。14kmに及ぶ復旧区間において、地元自治体との協議・連携により用地取得の期間短縮を実現し、資材製作を工事着手前に進める等工夫し、被災から約5年での工事完成を実現したことが評価された。

### 1. はじめに

九州北部豪雨では、平成29年7月5日の昼頃から夜にかけて福岡県から大分県に強い雨域がかかり、福岡県朝倉市では観測史上最大の9時間雨量774mmが記録された。これに伴い筑後川右岸流域では、土石流や斜面崩壊等が発生するとともに、大量の土砂や流木が流下し、甚大な被害をもたらした。特に被害が甚大であった、福岡県が管理する赤谷川、乙石川及び大山川について、福岡県知事から国に対して権限代行による応急復旧工事及び本復旧工事の要請が行われ、これを受け、国は全国で初めて適用となる権限代行による工事に着手した。

### 2. 事業の概要

赤谷川・乙石川及び大山川の本復旧改良区間約14kmにおいて、河道整備（護岸、掘削）、流木捕捉施設（1箇所）、落差工（92箇所）、橋梁（20橋）、道路改良（約1.5km）などの工事を行った。



令和5年5月完成状況

### 3. 事業の成果

事業期間は概ね5年間とされ、限られた期間で改良復旧工事を進めるために、計画・設計において、地元の方々への理解を得るために模型実験を用いた説明や各地区への説明会などを合計100回以上行った。用地取得期間を短縮することが不可欠であったため、地元自治体との協

議により、区画整理事業で行い、また、境界立会が危険であることから、権利者が現地に行かずに境界立会を行うことができるように、WEBや航空写真等を活用し、境界確定の時間を短縮し、早期の用地取得を完了させることができた。施工では、本復旧として工事ができる期間は応急復旧完了からの約3年しかなく、施工の省人化、出水期施工、ICT施工などを取り入れ、工期短縮を図り完成させた。



境界立会実施状況

### 4. おわりに

本事業は、甚大な災害からの地域復旧のための事業であったが、同時に地元の方々の復興の基礎となる事業でもあった。多くの方々、関係機関のご協力のもと、各施工業者の絶え間ない努力により、完成させることができた。



赤谷川権限代行工事及び直轄砂防事業完成 記念碑除幕式

賛助会員 オリエンタル白石(株)、飛鳥建設(株)、(株)福田組、若築建設(株)